

2006 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 7 年 3 月 3 1 日作成)

委員会名	骨材品質調査研究小委員会	主 査 名：清水 昭之
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：田中 享二
設 置 期 間	2 0 0 4 年 0 4 月 ~ 2 0 0 8 年 0 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>最近の多様化する骨材事情の把握と新たな骨材の基準化のための資料整備を目的とする。</p> <p>2004 年度 電気炉酸化スラグ指針作成検討小委員会の指針作成作業の支援、人工骨材の技術動向に関する資料の収集</p> <p>2005 年度 電気炉酸化スラグ指針作成検討小委員会の指針作成作業の支援、人工骨材の技術動向に関する資料の収集の継続、JASS5 の骨材関連部分の規定の見直しに関する検討、JIS A 5031(コンクリート用溶融スラグ)の JIS 化に関する検討</p> <p>2006 年度 同上継続、人工骨材の技術の現状に関する本文案作成</p> <p>2007 年度 JASS 5 大改定に伴う再生,各種スラグ骨材の規格・基準の取込みの見直し検討、人工骨材の技術の現状刊行のための調整</p>	
委員構成 (委員名(所属))	主査 清水 昭之(東京理科大)、幹事 阿部 道彦(工学院大)、伊藤康司(全生連)、井上和政(竹中)、高英雄(工学院大)、菊地雅史(明治大)、立屋敷久志(三菱マテリアル)、棚野博之(建研)、仁村誠二(大阪工大)、萩ノ谷克範(都市公団)、畑中重光(三重大)、藤木英一(メサライト)、真野孝次(建材試験センター)	
設置 WG (WG 名：目的)	人工骨材WG：最近の人工軽量骨材の動向を調査して、技術の現状をまとめる	
2006 年度予算	50,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会開催日(参加者数)：本年度は小委員会としては開催せず、主として傘下の人工骨材ワーキンググループで実質的な活動を行っている。人工骨材 WG の開催状況は次のとおりである。 2006.04.25, 07.04, 10.03, 12.01, 2007.01.30, 3.14
得られた成果	1 . JASS 5 骨材関連の本文案の見直しの支援 2 . 人工骨材の技術の現状に関する資料のまとめ 委員会 HP アドレス：
目標の達成度	2006 年度の計画に沿った活動をし、JASS 5 の骨材関連部分の本文案を見直し、また、人工骨材の技術の現状に関する資料のとりまとめを行うことができた。
その他評価すべき事項	特に無し